

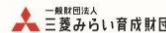


## 令和6年度 PDA 青森県高校生 即興型英語ディベート交流大会 2024

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2024年7月27日(土) 12:00-16:00

会場：オンライン (Zoom)



参加者：生徒 31名 (青森県立青森高校、青森県立青森南高校、青森県立八戸高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校)

ジャッジ：PDA スタッフ、青森高校・PDA 認定教育ジャッジ、三本木高校、三沢商業高校・PDA 認定教育ジャッジ、青森南高校・PDA 認定教育ジャッジ、青森南高校

出場校の5校10チームが集い、令和6年度PDA青森県高校生即興型英語ディベート交流大会2024が開催されました。開会式では、青森県立青森南高等学校の小田桐先生より「勝ち負けはつきませんが、せっかくの『交流』大会ですので、交流も楽しみつつ頑張ってください。」とご挨拶いただきました。

次にPDAスタッフより参加校の紹介が行われ、名前を呼ばれた学校の生徒は元気よく「がんばります!」「よろしくお願ひします!」をチームで声を合わせて挨拶をしました。そして今回ジャッジを務める教員5名の紹介が行われ、生徒の成長を期待するメッセージが伝えられました。そしてこれまでの青森交流大会の結果やルール説明が行われ、ディベートの流れに関する説明や、POI (Point of Information: ディベート中の質疑応答) の練習が行われました。POIの練習ではPDAスタッフの「せーの!」という合図に合わせて全員で元気よくPOIのポーズに取り組みました。POIの練習を終えると、早速1ラウンド目がスタートしました。

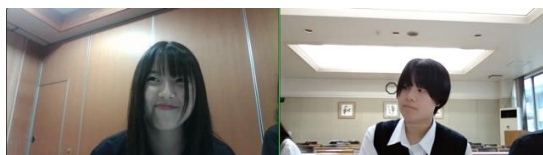


POI の練習

1 ラウンド目の論題は、“Cashless payment should be mandatory. (キャッシュレス決済を義務化すべきである。)”でした。「災害時だと困るのではないか」「災害時であれば現金を持っていても状況は変わらないので差はないのではないか」といったやり取りや「高齢者が不便を感じる」「昨今ではスマートフォンを使いこなす高齢者もかなり多い」など相手の主張を理解した上での素晴らしい切り返しも多く見られました。



青森明の星 A VS 青森 B



青森南 B VS 青森明の星 B



八戸 VS 青森南 C



POI ! (ウルスラ学院 A VS 青森南 A)



POI の質疑応答(青森 AVS ウルスラ学院 B)



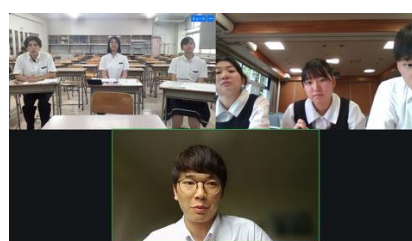
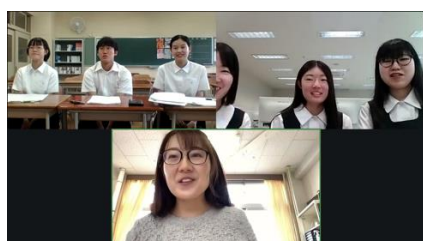
エア一握手(青森明の星 B・青森南 B)



交流(八戸・青森南 C)



交流(ウルスラ学院 A・青森南 A)



教員ジャッジによるフィードバック

続く 2 ラウンド目の論題は “**We should introduce a female quota in university admissions.** (大学入試に女性枠を設けるべきだ。)” でした。現状においてそもそもどのような点で女性への差別が見られるのか、これは逆差別には該当しないのかなどの論点や多様性の重要性などさまざまな論点から議論が行われました。

ディベートが終わると画面越しに握手を交わし、教員ジャッジが勝敗を考えている時間に交流する姿が見られました。学年を尋ねるところから始まり、趣味や英語学習についてなど盛り上がりを見せました。

ジャッジによるコメントでは、勝敗だけでなく、その理由、個人コメント（各生徒に対してよかった点1つ、改善点1つ）、ベストディベーターとベスト POI の発表が行われました。「多様性が大事だという主張は感覚的にわかるものの、やはり、両チームが同様の認識をしていない以上、どのような多様性か、そもそもなぜ多様性が重要なのかについてもしっかりと説明するといい」など具体的なアドバイスが伝えられ、生徒たちは今後のディベートや学習に生かそうとメモをとりながらフィードバックに聞き入りました。



POI！（青森 B VS ウルスラ学院 A）



ディベートの様子(ウルスラ学院 B)



エア一握手(青森南 C・青森明の星 A)



交流(青森南 A・明の星 B)



教員ジャッジによるフィードバック

2回の実践を終えると、教員ジャッジが「ぜひこの生徒のスピーチをもう1度聞きたい」と推薦した生徒によるエキシビジョンディベートです。まずはその代表者6名が発表されました。エキシビジョンディベートの準備時間中は青森高校出身で、高校時代はこの青森交流大会やPDA世界交流大会に参加した経験もあるPDA学生ジャッジが高校生のときのディベートを通した学びや、大学生活や現在学習していること、今後のキャリアなどについてプレゼンテーションを行いました。それらの経験が現在の活動や学習のモチベーションになっていると話し、生徒たちは目を輝かせながら話に聞き入っていました。



青森高校卒業生・PDA学生ジャッジによるメッセージ

準備時間を終えると早速エキシビジョンディベートのスタートです。論題は、“**We should study abroad in the UK in high school.** (高校時代にイギリスに留学すべきである。)”でした。食生活や英語の学習環境などイギリスならではの特徴を挙げる肯定側と、他の重要な学習を挙げる否定側のとても噛み合った議論となりました。白熱したディベートとなりましたが、挙手投票の結果僅差で否定側の勝ちとなりました。その後の閉会式では個人賞やチーム賞が発表され、表彰されたチームメイトや学校を拍手で称え、交流大会が終了しました。



アイコンタクトを意識したスピーチ



エキシビジョンでもPOI!



エキシビジョンディベーター



ディベート後のエアー握手

## 【表彰】

### 〈エキシビションディベータ賞〉

・PM	青森県立青森南高校	_____さん
・LO	青森明の星高校	_____さん
・MG	青森県立青森高校	_____さん
・MO	八戸聖ウルスラ学院高校	_____さん
・LOR	青森県立八戸高校	_____さん
・PMR	八戸聖ウルスラ学院高校	_____さん



エキシビションディベータ賞

### 〈チーム賞〉

1位	八戸聖ウルスラ学院高校 A チーム
2位	青森県立八戸高校
3位	八戸聖ウルスラ学院高校 B チーム
4位	青森県立青森高校 B チーム
5位	青森明の星高校 A チーム



1位・3位 八戸聖ウルスラ学院高校 A・B



2位 青森県立八戸高校



4位 青森県立青森高校 B



5位 青森明の星高校 A

〈ベストディベータ賞〉★は2回選ばれた生徒

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ A) ★

\_\_\_\_\_さん (八戸)

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 B) ★

\_\_\_\_\_さん (青森南 A)

\_\_\_\_\_さん (青森 A) ★

\_\_\_\_\_さん (青森南 A)

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ B)

\_\_\_\_\_さん (青森南 C)

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ B)

\_\_\_\_\_さん (青森 B)

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 A)



ベストディベータ賞

〈ベスト POI 賞〉★は2回選ばれた生徒

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ A) ★

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 B)

\_\_\_\_\_さん (青森 A) ★

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 B)

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ B)

\_\_\_\_\_さん (八戸)

\_\_\_\_\_さん (ウルストラ B)

\_\_\_\_\_さん (青森南 C)

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 A)

\_\_\_\_\_さん (青森 B)

\_\_\_\_\_さん (青森明の星 B)



ベスト POI 賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 普段の練習より交流ということでほかの学校の人たちとディベートできて濃い時間を過ごせた。（青森高校）
- ・ いつも練習している同じ学校の人たちでなく、話したことがない、立論も予測できない人たちと試合ができて、自分の経験値をあげることができました。（青森高校）
- ・ 知らない人とディベートをして、POIをしながら、議論を深めることができたからです。初めてやるような内容のトピックもあり、面白かったです。（青森高校）
- ・ もっと自分の意見を進んで言えたらいいなと思いました。負けてしまって悔しかったですが、このディベートでの経験をこれからの人生に活かしていきたいと思いました。（青森南高校）
- ・ エキシビジョンマッチの時、白熱したディベートで私もその方達みたいに喋れるようになりたいと思いました。初めて挑戦してみて最初は乗り気ではありませんでしたがとても楽しく参加することができたので良かったです！（青森南高校）
- ・ 自分の意見をもってPOIをしたりできたので楽しかったです。（青森南高校）
- ・ チームメイトと知恵を絞り出してやるのと、他校との交流が面白かった。（八戸高校）
- ・ 即興型英語ディベートに初めて参加したため、緊張が強かったです。しかし、チームの人の支えや先生の支えもあり、楽しいものとなりました。また、日常生活では深く考えないことが多い問題について切り込んでいく良い機会になったと思います。本当に楽しかったです。（八戸高校）
- ・ 母語ではない言語で話すのは難しかったけど仲間と協力し合って出来て楽しかった。とっても楽しかったです！！来年もやりたいです！（青森明の星高校）
- ・ 他の高校の人と1つのことについて討論する機会はなかなかないものだと思うので、いろいろな意見が聞けて楽しかったです。楽しい議題から難しい問題まであって考えにくい部分もあったけど、頭をフル回転させて自分たちなりに協力して考えることが出来て面白かったです。（青森明の星高校）
- ・ 初めて大会に出場しとても緊張していたのですが、他校の皆さんと交流を通して、どのように勉強しているのかなど、普段知ることができないようなことをたくさん知ることが出来ました！！とても面白かったです！！（青森明の星高校）
- ・ 今まで英語で議論する機会がなかったから、ここまで活発に英語でコミュニケーションできたことは楽しかった。（八戸聖ウルスラ学院高校）
- ・ 生徒にとってとても良い刺激になっており、いろんなことを自分でも学びました。（教員）
- ・ 生徒がいきいきと英語を使っている姿を見ることができた。（教員）
- ・ 積極的に英語ではなしているのが見られた。（教員）